

日本大学 校歌

1. 日に日に新たに 文化の華の
さかゆく世界の 曠野の上に
朝日と輝く 国の名負いて
毅然と立ちたる 大学日本
正義と自由の 旗標の下に
集まる学徒の 使命は重し

いざ 讃えん 大学日本
いざ 歌わん 我らが理想

2. 四海に先んじ 日出る国に
富嶽とゆるがぬ 建学の基礎
栄ある歴史の道 一すじに
向上止まざる 大学日本
活世の一念 ほのほと燃ゆる
われらが行く手の 光を見よや

いざ 讃えん 大学日本
いざ 歌わん 我らが理想

日大節 (日大工学部剣道部)

東に清流、阿武隈川を望む (ヨイショ)
西に霊峰、磐梯山を仰ぐ (ヨイショ)
ここ東北郡山徳定の森に巍然とそびえ立つは
我が日本大学であへる (ヨイショ)
青山謳歌のもとに馳せ参じ
明日の日本を背負い立つは
我が日本大学の強者共がここに集いて
声高らかに日大節の一節を
いざ歌わんかな舞わんかな いざ狂わんかな (ヨイショ)

エッサコリャコリャ この俺は (ヨイショ)
まかり出ました この俺は (ヨイショ)
日大一の色男 (ヨイショ)
エッサコリャコリャ この俺は (ヨイショ)
まかり出ました この俺は (ヨイショ)
日大一の強き者 (ヨイショ)
エッサ見てくれこの身体 (ヨイショ)
剣道で鍛えしこの身体 (ヨイショ)
エッサ見てくれこの腕 (かいな) (ヨイショ)
剣道で鍛えしこの腕 (かいな) (ヨイショ)
エッサコリャコリャ 前から来い (ヨイショ)
後ろから来い (ヨイショ)
前から来る奴は諸手突き (ヨイショ)
後ろから来る奴は逆胴だ (ヨイショ)
日大名物数あれど (ヨイショ)
数々あれど 数あれど (ヨイショ)
数ある中の日大の (ヨイショ)
日大節の一節を (ヨイショ)
皆が揃うたら 皆が揃うたら 日大節は一拍子

1. ここは東北か 郡山の町か 郡山の街なら 大学は日本
2. 大学日本の 学生さんは 度胸一つの 男伊達
3. 度胸一つで 郡山の街を 歩いて行きます 紋付袴
4. 紋付袴は 日大の印 ぼろは俺等の 旗印
5. ぼろは纏えど 心は錦 どんなものにも恐れはせぬぞ
6. どんなものにも恐れはせぬが 可愛いあの娘にゃ かなやせぬ
7. 可愛いあの娘は いつでも捨てる 母校のためなら 生命までも
8. 生命捨てても その名は残る 大学日本の その名は残る
9. 大学日本の その名は残る おまけに剣道部のその名は残る
おまけにおいらのその名は残る (この後エール) (エールの後校歌)